

『臥龍梅』 蔵便り

平成二十五年睦月



皆様 明けましておめでとうございます。強烈な寒波の影響で厳しい寒さが続いておりますが、お変わりなくお過ごしでしょうか。

豪雪地域の皆さんには申し訳ありませんが、温暖の地、静岡では寒ければ寒いほど酒造りには好都合です。ことに大吟醸については年末から年明けに掛けて酒母を育成し、大寒の頃合に仕込むのを常としておりますので、杜氏にとって今年のような寒いお正月は大歓迎と言っても過言ではありません。そんな次第で、蔵では大晦日も三が日も関係なく仕事を続けております。とは言え杜氏も人の子、少しはお正月気分を味わいたいということで、三日の午後から蔵人三名を伴って初詣に出掛けました。行き先は頭さんのたつての希望で久能山東照宮。ご存知ない方のためにちょっと説明いたしますと、久能山東照宮は徳川家康を御祭神とする神社です。晩年を静岡の駿府城で過ごした家康ですが、亡くなる前から没後は自らを久能山に埋葬するようにと命じていたそうで、二代將軍秀忠がその遺命にしたがって造営したのが久能山東照宮です。東照宮と言うとすぐに日光を連想される方が多いと思いますが、本家本元は静岡の久能山で、家康が日光に移されたのは一年後のことです。わが臥龍梅命名の謂れにも関係する徳川家康を祀る神社ですので、初詣にはうってつけです。午後から、まず車で久能山の隣の日本平の山頂へ向かいました。久能山というのは険しい山で東照宮はその山頂にありますので、隣の山からロープウェイで行くのが常道です。下から石段を上って行くことも出来ますが、1,230 段もありますので、ちょっと覚悟が要ります。さて、日本平の山頂に行ってみると、駐車場が満杯で待つこと 20 分。ようやく車を置いてロープウェイ乗り場での最後尾に着いたところ、何と一時間待ちとのこと！5 年ほど前に初詣に行ったときには待つことなく乗れたのにえらい混みようです。久能山東照宮が国宝に指定されたこともあって人気が出たのでしょうか。それとも自民党政権になって早くも景気回復の兆しが見えてきたのでしょうか。初志貫徹ということで我慢して待ちましたが、それだけに本殿にたどり着いて参拝したときの感激はひとしおでした。今年も良いお酒が出来ますようにと苦勞して祈願してまいりましたので、必ずや皆様にご満足頂ける美味しいお酒をお届けできるものと存じます。



さて、今月は山田錦 55%精米の純米吟醸の袋吊雫酒をご案内いたします。山田錦の個性を生かした芳醇な香り、ふくよかでキレのある味が特長で、どなた様にも自信をもってお勧めいたします。先にご案内した五百万石 55%の袋吊雫酒は昨年末に完売いたしました。こちらも数に限りのある商品ですのでお早めにご注文ください。

寒さのおりから、おかせなど召しませぬように。

平成 25 年 1 月 吉日

敬具

鈴木 克昌